広済寺寺報

発行　浄土真宗本願寺派　福田山　廣済寺
〒933－0344　富山県高岡市笹川98　TEL(FAX) 0766－31－0096
E-Mail　info@kosaiji.net　ホームページ　https://kosaiji.net/

今号の内容

・おかげさまの報恩講
・仏事の疑問Q&A ～光明～
・千夏のきときと日記
・住職コラム

今号の法語

今日という日は
残りの人生の
最初の日である

チャールズ・ディードリッヒ

法座のご案内

一月十五日(木)　午後二時より
十六日(金)　午前九時半より(午前のみ)

御正忌報恩講（於 広済寺広間）

※お勤め・法話共に、御堂ではなく、ストーブで暖かくした広間にて行います

今年も残すところあと数日。皆さんにとって二〇二五年はどんな一年だったでしょうか？私は今年も失敗ばかり・・・。そんな時、どうせ来年も・・・って思ってしまうのは私だけでしょうか？

過去を振り返り反省することはとても大事なことですよね。ですが過去にとらわれ過ぎては、前を向けなくなってしまうことも。目の前には新たな一日があるはずなのに・・・。

今号の法語は、後悔ばかりの過去から飛び出して、新たな一歩を踏み出す勇気を与えてくれる言葉です。

もうすぐ新年。昨日は過去。「今日」は残りの人生の最初の一日になるのです。心機一転、新たな始まりなのですから、希望も湧いてきませんか？

一日一日を大切に。新年も前を向いて元気に過ごしていきたいものですね。

おかげさまの報恩講

今年も無事に報恩講をお迎えすることができました。三日間にわたって多くの方がお参りくださり、楽しくもありがたい時間となりました。

この報恩講をお迎えするにあたっては、二週間前から様々な準備が始まります。境内の除草、お寺の窓拭き、仏具みがき、お寺の荘厳（お飾り）やお斎（食事）の下準備など…。直前の掃除、当日の運営、最後の後片付けに至るまで、本当にたくさんの方々のご協力で毎年勤まっています。

そしてお参りくださる方々。みんなで作り上げたおかげ様の報恩講でした。本当にありがとうございました。来年もまた皆でお迎えしましょう！

仏さまのお話を聞きます

子ども報恩講はみんなで楽しく♪

仏事の疑問Q&A

質問　ご絵像の阿弥陀さまに描かれる光の数は決まっているんですか？

浄土真宗のご本尊は阿弥陀さまですが、そのはたらきをお姿で表したものが「ご絵像」です。お葬式の際にお寺からお迎えする「無常仏」さまも「ご絵像」ということですね。

さてこの「ご絵像」さま、阿弥陀様の頭の後ろから光の線（光明）が放射線状に描かれています。

この光明の数は、実は決まっているんです。答えは四十八本。阿弥陀様が私たちを救うために誓われた願いが四十八個あったことにちなんだ数なのです。

光明が放射線状に描かれています

また光明について、「お西（本願寺派）は八本、お東（大谷派）は六本」というのを聞いたことはないですか？

これは「ご絵像」の上端に接する光明の数によって、その「ご絵像」がお西の仏さまかお東の仏さまかが分かるという話です。ですが残念ながらこれは俗説。私たちお西にはそんな決まりはありません。

ぜひ「ご絵像」さまをじっくりご覧になって（お参りして）くださいね。

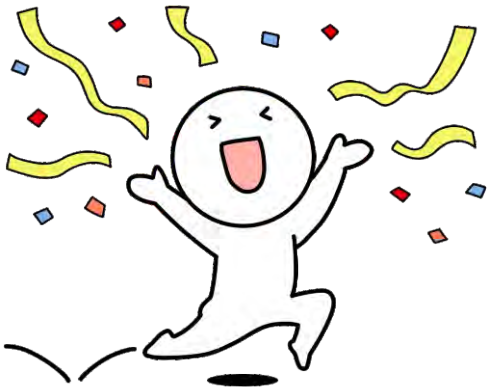
千夏のきときと日記

「この世はうらめしい。けど、すばらしい。」

二〇二五年度後半のNHK連続テレビ小説『ばけばけ』のキャッチコピーです。

この言葉を聞いた時、「自分のことだ！」と思ってしまいました。

「うらめしい」という言葉には、他の人がうらやましかったり、はがやしかったり（富山弁：くやしい）、自分の嫌な妬み嫉みを感じます。これは思い通りにならない、苦しむ私の姿そのものです。



反面「すばらしい」という言葉には、その苦しむ私の中にある、光輝く希望を感じます。

その二面性がまさに浄土真宗の教えのようで、何だかうれしくなってしまいました。

浄土真宗の教えは人生の苦しみから目を背けるのではなく、苦しみの中にも常に照らし続けてくださる阿弥陀さまがおられることを聞いていく教えです。

実は今年私がお嫁に来て早十年が経ちました…。この十年は泣いたり怒ったり笑ったり。うらめし～い毎日を過ごす私に必ずご一緒くださるのは阿弥陀さまでした。あ！若院（夫）もですよ！！

住職コラム

「ありがたいねー。なんまんだぶ、なんまんだぶ」（久堀先生）

もう十五年前になろうかと思う。例年夏の盛りの時、黎明講座に奈良県の久堀先生を高岡駅までお迎えする折に、車中でよく口ずさんでおられた。以前は世間のニュースや富山の話をよくしておられたが、その頃になると御歳のせいか、お念仏をよく称えておられた。このことが最近よく想い出される。「お念仏」、ほんと不思議ですね。

「こんな私に届いている。ありがたいね、なんまんだぶ」（久堀先生）。

いろいろな味わいがある。そうですよね。どこにでもおられる。いつもおられる。そばにおられる。

ありがとう、なんまんだぶ。

合掌

お知らせ

令和七年

除夜の鐘
十二月三十一日(水)
午後十一時四十五分より

令和八年

元旦会
一月一日(木)
午前五時より

御正忌報恩講
一月十五日(木)
午後二時より
十六日(金)
午前九時半より

御講師
砺波組　明覚寺
林　要昭　師

※月参りについて
一月一日・二日・三日の三日間はお休みさせていただきます(祥月命日は除く)。

除夜の鐘

12月31日(水)
午後11時45分～0時45分頃

※撞いている間も出入り自由です。
いつでもお越しください。
本堂におられる阿弥陀様にもお参りしましょう。

編集後記

いよいよ年の瀬ですね。大掃除はお済みですか？お寺は現在進行中です。

先日のお昼、片付けに二階へ上がった際にあるものを見つけてビックリ。慌てて台所に駆け戻りました。

「ネズミ捕まっとったよ！」

家族に報告すると、坊守から「アンタ片付けとかれ」と厳しい一言。

「俺は見つけて報告したんやから、絶対嫌やわ！(一定の役割は果たしたつもり)」の私。

「用事あるからもう行きますね！(ネズミだけは勘弁！)」とそそくさと外出する若坊守。「もうひっかかったんか～？(自分で片付ける気は一切無し)」の住職。「えいちゃん、ネズミ年！(関係ない)」の娘。

結局、坊守が渋々片付けてくれてお寺に平和が戻ったのでした。さすが坊守(お寺を守る)ですね、ありがとうございます。ネズミさん、もうお寺に入ってこないでね(お願いします)。